

ロシア留学体験談

新潟国際情報大学

国際文化学科

氏名 五十嵐 亮

さてロシアへ留学するとなると全てがわからないことだらけだと思う。そんな後輩の皆さんへ少しばかり自分の体験や、留学を終えてみて改めて思ったことを書こうと思う。これを見ているあなたの不安を少しでも解消できれば幸いだ。なるべく親しみやすいようにこの文章はなるべくフランクな感じで書くが、もし変な感じだったり気に障ったりしたら申し訳ない。書いたものはしょうがないから我慢してくれ！

まず皆さんへ是非行ってほしいおすすめスポットを紹介したい。まずは「ウハ ティ ブリン!!」だ。ここはブリヌイというロシア伝統の料理専門店、あまーい系統からしょっぱい系統ブリヌイまでそれはもうめちゃくちゃ種類がある。そしてめちゃくちゃ美味しい。私はもうはまってしまって平日だろうが何だろうが足しげく通ってほぼ全系統のブリヌイをコンプリートした。ぜひお気に入りのブリヌイを見つけてくれ。ちなみに私はケシの実とクルミ入り練乳がけブリヌイが一番好きだった。

その次のおすすめスポットは「キタイスキー市場」だ。ここは名前の通り中国製の製品が数多くあり、いわゆるコピー製品も多い。だがコピー品だからといって悪いものばかりということではなく、品質は安価ながら割とよかったりする。衣類が圧倒的な量だが、それ以外にも日用品など人間が作り出しているものならもう多分何でも売っている気がする。何でも安く売っているので、割と最初に訪れてみてもよいと思う場所だ。ただし中心部から遠いのと、退廃的な空気が流れているので一人ではなくみんなで行こう。大学前のバス停から一本のバスで行ける。



←ブリヌイ屋さんにて

この時は五人で行ってコースのブリヌイを食べたのだった。みんなで行ってぜひ挑むべし。

その次に書くことは、いかにロシア人たちと接するかということだ。一つ言うるとすればロシア人は本当に初対面の時は不愛想な人が多い。例えばルームメイトのアリョーシャは最初は本当笑わなかった。しかしだんだん接していくうちに普段から笑ってくれるようになった。どんな時もロシア人に対しては笑顔でロシア語で話しかけよう。たいていの場合は悪い顔をされることはない。多分ほとんどのロシア人に言えることだと思うのだが、ロシア人は最初は固いイメージだ。日本人にもある意味少し似ているかもしれない。しかし仲良くなった時の距離の詰め方というか、スキンシップは日本のものとは全然違う。日常的に挨拶の時、男性同士は固い握手をいかなる場合でも交し合うし、男女間もしくは女性同士の場合は思いっきりハグをする。日本では考えられないがロシアではこれがマナーなのだ。慣れるべし。ただしやっぱりお互いの距離感というか、そういうものはちゃんと存在するのできちんとそこは把握して接するようにしよう。



↑上の画像の白人系がルームメイトのリョーシャ。我々の部屋は日本人、韓国人、ロシア人の三人部屋だった。

そして最後に伝えるとすれば「遊べ」ということだ。もちろん留学なのだから授業にきちんと出席して、ロシア語の勉強をすることは大事だ。だけど私がロシアで一番学んでいると感じたときは「遊んでいる」時だった。特に日本人以外と遊ぶようにしてほしい。そうすればいやでも外国語で話すことになり、本当にいろんな言葉が覚えられるようになる。仲良くしてくれるロシア人がいれば、その子ともっと仲良くなってその関係性をずっと続けて行ってほしい。ロシア人の友達に遊びに誘われたら基本的に行ってほしい。新しい人たちと知り合う機会があったら、頑張って話してみしてほしい。ウラジオストクでは「日本語会話クラブ」というものが毎週金土に開催されている。それに参加するのもよいだろう。無理に交友関係を広げる必要はないが、作った交友関係は薄いものにせず、交流を続けていくことが大事。多少勉強を犠牲にしても、そういう遊びは大事にしたほうが良いと思う。また学生寮で同じ階の人とは仲良くなろう。廊下ですれ違う時にあいさつするだけでも印象は変わるし、何回もキッチンで話す機会もある。無言で同じ空間にいるよ

り、楽しくおしゃべりしていたほうが何百倍も楽しいはずだ。そういう人たちが増えていくと、大学の中で見つけた時にお互いあいさつしあったりするようになる。それだけでBΓYΘCでの生活は一層楽しくなるはず。よく遊び、よく学べ！皆さんの留学生活がより充実したものになることを願っています。

